

令和7年度学校経営方針

丹波市立春日中学校

【学校教育目標】

「ふるさと春日を愛し 未来に向かって今を生きる生徒の育成」

【めざす生徒像】

・ 学び続ける生徒・自他を愛する生徒・挑戦する生徒
(自立) (共生) (チャレンジ)

【めざす教職員像】

・ 生徒理解に努め、個々の成長を支援する教職員 「指導から支援へ」
・ チームの一員として他と連携し、組織的に対応する教職員
・ 互いに切磋琢磨し、常に研究し工夫改善し続ける教職員

【重点目標】

1 誰にでも居場所がある学校づくり

① 授業やクラスで生徒の居場所を作り、多種多様な対応ができる学校づくりを進める。

【学級経営の充実】

② 生徒理解に基づき、個性を伸ばす支援を中心とした生徒指導「指導から支援へ」の徹底を図る。【人権感覚の高揚】

③ 「不登校未然防止マニュアル」のもと、組織的・計画的に取組・対応するとともに、不登校生徒に対しては迅速正確な初期対応ときめ細やかな教育を行う。【未然防止の徹底】

④ いじめ・生活・心のアンケート調査を実施し、アンケートに基づいた教育相談を行う。

⑤ 生徒指導委員会や生徒支援委員会を定期的に開催し、生徒指導担当教員・児童生徒支援担当教員を中心とした計画的で組織的な取組を進める。

⑥ 関係機関と連携した会議を実施し、生徒や保護者への継続的計画的な対応を行う。

⑦ 保護者を交えた会議・学年会議を実施し、再登校・教室復帰を目指す。

⑧ SNS等に対応した情報モラル教育を実施する。

2 主体的に学び続ける生徒の育成

① 「魅力ある課題」「主体的な学び」「他者との学びあい」を基本に、主体的・対話的で深い学びとなる授業改善を行う。【授業改善】（「わかる授業」「学び合い」）

② タブレットを活用し、UD化・可視化を目指した授業を実践する。【個別最適な学習】

③ 全教員による公開授業を実施し、研究協議を行う。

④ 全教員の参加による授業研究の研修会を実施し授業改善を行う。

⑤ 兵庫型学習システム等、習熟度別少人数授業の研究を進め実践する。

⑥ アントレプレナーシップ教育を中心とした探究学習を推進し、自ら未来を創る心を育成する。【夢や目標を持たせる指導】

⑦ 家庭学習の習慣化を進める。【家庭学習の充実】

3 教職員が生徒に向き合う環境づくり

① 会議1時間以内や退勤時間の見える化などの学校業務改善に取り組む。

② 業務改善により子どもと向き合う時間の確保を行う。

③ ICTを活用することにより業務の効率化簡素化を図る。

④ 部活動の練習時間の見直しにより、生徒観察や心の触れ合いを大切にする。

4 地域や保護者に信頼される開かれた学校づくり

① ホームページや「春日中だより」で組織的計画的な学校広報を行う。

② 学校評価アンケート等により、PDCAサイクルで改善するとともに、方針や取組についても保護者・地域に周知する。

③ 保護者や地域の関係機関との連携を図り、積極的に地域行事等に参加する。